

# 自己主権IDの基本原則

自己主権型IDの設立に関する原則はデジタルIDのエコシステムでの活用を目的としています。あらゆる組織が自己主権IDの基本原則を下にガバナンスフレームワークを設計する事を歓迎します。自己主権IDの基本原則は関連する司法の原則に基づいた公式の法律や規制の下での利用に限定されます。

## 1. 代理証明

自己主権IDのエコシステムは実在する存在に対し人間的、法的、自然的、物理的、もしくはデジタルによって実現するデジタル上での識別子の数で証明できる環境を提供します。

## 2. 相互互換性

自己主権IDのエコシステムは実在する存在に対してデジタルIDデータを証明、交換、安全、保護、そしてデータ互換性の確認を前提としてオープンで公共な手数料が無い環境を提供します。

## 3. 分散性

自己主権IDのエコシステムは中央集権型のシステムに依存する事なく、管理、もしくは実在する存在の確認をデジタルIDに記録されたデータを下に行う事ができる環境を提供します。

## 4. 管理とエージェント

自己主権IDのエコシステムは自然、人間、もしくは法的なアイデンティティと関連がある（アイデンティティ所有者）実在する存在がデジタルIDデータと選択によって個人や組織、デバイスやソフトウェアなどのエージェントの採用、データ保護管理を実施できる環境を提供します。

## 5. 参加

自己主権IDのエコシステムはアイデンティティ所有者の参加を必要としない環境を提供します。

## 6. 公正と包括

自己主権IDのエコシステムはガバナンス設計に置いてアイデンティティ所有者によって差別、排除を行わない環境を提供します。

## 7. 利便性、アクセス性、一貫性

自己主権IDのエコシステムは利便性とエージェントのアクセス性を最大化し、他アイデンティティ所有者の自己主権IDとの一貫した利用者体験を実現できる環境を提供します。

## 8. 可搬性

自己主権IDのエコシステムはアイデンティティ所有者によるアイデンティティの携帯、もしくはエージェント、システムにより選択されたアイデンティティデータのコピーの移行を制限する事はありません。

## 9. 安全性

自己主権IDのエコシステムはアイデンティティ所有者が自身のデジタルIDデータを暗号鍵や取引のエンドツーエンド暗号化を通じて安全に管理できる環境を提供します。

## 10. 確認と認証

自己主権IDのエコシステムはアイデンティティ所有者がデジタルIDデータを下、認証に必要な確認証明を発行できる環境を提供します。

## 11. プライバシーと公開の最小化

自己主権IDのエコシステムはアイデンティティ所有者がデジタルIDのプライバシーと取引に必要なデジタルIDデータの最小化を実現できる環境を提供します。

## 12. 透明性

自己主権IDのエコシステムはアイデンティティ所有者と全てのステークホルダーが簡易にアクセス、情報の確認ができ、インセンティブやルール、ポリシー、アルゴリズムなどエコシステム内で機能する内容を知る事ができる環境を提供します。

このドキュメントは各国の自己主権IDコミュニティメンバーが参加して  
Sovrin Foundationが中心となり以上の原則を基に開発したものです

このドキュメントは以下のライセンスの下で実施されています。

[Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/).

このドキュメントは[Sovrin Foundation](#)とSovrinボードメンバーによってSovrin Utility Governance FrameworkとSovrin Ecosystem Governance Frameworkを基に承認されています、

コメントやご意見はコミュニティで作成中のドキュメントに参加して投稿をお願い致します（誰でも参加可能です）

自己主権IDに関する原則の開発会議への参加に関心がある方はSovrin Governance Framework Working Groupに[Meeting Page](#)を通じて参加下さい。

© 2020 by Sovrin Foundation.

このドキュメントは以下のライセンスの下で実施されています。 [Creative Commons AttributionShareAlike 4.0 International License](#).

---

自己主権型IDの原則はSovrinによって支持されています:

